

(人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針に則る情報公開)

『オミックス解析によるヒト疾患の新規バイオマーカー探索研究——死後脳神経組織を用いた神経疾患バイオマーカーの探索』

本研究への協力を望まれない場合は、問い合わせ窓口へご連絡ください。研究に協力されない場合でも不利益な扱いを受けることは一切ございません。

本研究の研究計画書及び研究の方法に関する資料の入手又は閲覧をご希望の場合や個人情報の開示や個人情報の利用目的についての通知をご希望の場合も問い合わせ窓口にご照会ください。なお、他の研究参加者の個人情報や研究者の知的財産の保護などの理由により、ご対応・ご回答ができない場合がありますので、予めご了承ください。

【対象となる方】

2009年4月以降2023年9月末日までの間に国立精神・神経医療研究センター病院で病理解剖され、NCNPブレインバンクでの剖検検体の保管および研究使用に関して同意された方。神経変性疾患の状況や程度、死後の脳の状態を考慮して症例を選択します。疾患名には拘らず、神経疾患がない方も対象とします。

【研究期間】

研究実施許可受領後（X年X月X日）より2025年3月31日まで

【研究代表者】 理化学研究所 村川泰裕

【研究責任者】 国立精神・神経医療研究センター病院 臨床検査部 高尾昌樹

【試料・情報の利用目的及び利用方法】

神経疾患の患者様および疾患のない方の死後の組織から核酸を精製し、独自に開発した高度な技術に基づいてRNAの発現を解析いたします。また、遺伝子やタンパク質の網羅的解析を行い、臨床や病理のデータと組み合わせ統合的に解析することで、疾患の診断・病態解明・治療法開発につながる新規バイオマーカーの発見を目指します。

【利用又は提供する試料・情報等】

試料: 剖検検体組織(脳、脊髄、末梢神経、各種臓器、血液、髄液など)

情報: 身体情報(性別、年齢)、臨床情報(臨床診断名、死後時間、内服薬の履歴、検査結果などのカルテ情報)、病理解剖情報(病理診断名、RIN値、脳重、病理解析結果など)

作成年月日：2023年11月20日 第1版

提供する試料・情報の取得の方法：試料はNCNPブレインバンクに登録され寄託された検体、情報は試料に付随してブレインバンクに集積する情報

【共同研究機関】

理化学研究所 村川泰裕（研究代表者）

○問い合わせ窓口

国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター

所属 病院 臨床検査部 氏名 高尾昌樹

電話番号 042-341-2711（代表）

○苦情窓口

国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター倫理委員会事務局

e-mail: ml_rinrijimu※ncnp.go.jp（「※」を「@」に変更ください。）